

令和 6 年度第 2 回千葉県認知症対策推進協議会指摘事項

指摘事項	県対応
〈椎名委員〉 ○新テキスト P22 「中核症状」と「認知機能障害」どちらも同じ意味であるので、統一した方が良い。 ※中核症状は日本のみの呼称であり、認知機能障害が世界基準の表現とのこと	「認知機能障害（中核症状）」に統一
〈長谷川委員〉 ○新テキスト P6 4 項目かこみの中に記載があるが、何が要約されているかわかりにくいので、「心構え」等タイトルを付けてみてはいかがか。 ○新テキスト P9 最後の段について、「本人や家族の立場で考える」を「考え行動する」としてはいかがか。 考えるところで止まらず、行動に移してもらえると良いと思う。 新テキスト P10 「ステップアップ講座」を受講した人が認知症サポーターになれる、というような誤解を与える図になっている。	「認知症サポーターとしての心構え」を追加 御意見を反映。 「考え行動するなど」に修正 全国キャラバンメイト連絡協議会が作成した図であるため、編集不可。 以下注釈を入れる 認知症サポーターが受講する講座
〈夏目委員〉新テキスト各ページ 出典元を記載いただいているが、出典元にも引用した資料があると思われる。どこまで記載するのか。 → 〈伊豫会長〉 参考という記載でも良いのではないか。	「出典」から「参考」へ修正

協議会指摘事項	県対応
〈柏市 小出委員〉 新テキスト P31、37～38、41～42 高齢者を含めたスマートフォンの保有状況は 8 割〈総務省調査結果〉を占めているため、二次元バーコードの掲載を検討いただきたい。	QR コード添付
全国キャラバン・メイト連絡協議会	県対応
全国キャラバン・メイト連絡協議会に内容確認を依頼したところ、同協議会が作成するテキストからの引用を認めないとのことだった。 【全国キャラバン・メイト連絡協議会テキスト】 (1) コラム (2) 「診断を受けた直後の気持ち」(当事者の言葉の紹介) (3) 「ともに生きる家族へのメッセージ」 (4) 記憶をつかさどる器官 (海馬) の動きのたとえ	新テキスト P8、10～12、14、15 (1) ～ (3) 認知症本人へのインタビューを掲載する。 インタビュー内容 ○実際に助けてもらえたことはあったか。 ○診断を受けた直後の気持ち ○周りの対応で傷ついたことはあるか。 ○地域や周りに望むことはあるか。 ○認知症に悩む本人・家族へのメッセージ ○認知症サポーター受講者に伝えたいこと 新テキスト P23 (4) 同様の図を県で作成する。